北区 六郷北学区

住民交流

健康•福祉

青少年育成

環境•美化

防犯•交通安全

防災

歴史・文化・芸術

その他

安全確認票の作成



【六郷北学区】

■世帯数: 1,977 世帯

■人 □:4,217人

■面 積:0.335km²

平成24年4月1日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 災害時における助け合いの仕組みづくりの基礎データとして「安否確認票」 の作成を実施。
- ・ 学区内の全世帯に、趣意書と記入用紙を配布し提出を呼びかける。回収後、 分析し、その結果を各自治会長に配布し運用開始する。
- 趣意書には、「確認票の記入項目は個人情報であるため、保管・管理の厳格化を図る」ことや、あくまでも「提出は任意」である旨を記載し、協力を依頼した。

【住民への PR 方法】

チラシの各戸配布

【アピールポイント】

確認票の回収率は50%強であるが、記入項目の分析結果から「マップ」以上の効果があることがわかった。(従来の〇〇マップは、第三者の目線で作成するが、確認票は本人が直接記述するため、「自分の思い」まで記述してある。)

2 きっかけ、背景

「支え合いマップづくり」の作成を検討している時に東日本大震災が発生した。 このため、急遽「助け合いの仕組みづくり」も含めたものを作成することとし、 その基礎データとなる「安否確認票」の作成に取りかかった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長計約 15 人

(2) 運営協力

重要な個人情報であるため、町内 単位で各町内会長が保管することと しているが、町内会長の不在や事故 に備え、副会長および消防団までは 情報を共有している。

町内会長、副会長の交代時には、 情報管理の徹底を認識することが必要。

4 実施のスケジュール

H23年3月 東日本大震災発生により支え合い マップ作りを中止

4月 安否確認票の作成および様式について検討

6月 全世帯に趣意書を送付して安否確 認票の提出を依頼

8月 提出締め切り、集計開始

10月 集計完了、各自治会長に配布(運 用開始)

5 成果と課題

(1) 成果•効果

• 災害弱者となり得る人は、安否確認票にかなり切実な悩みなどを記入している。こうした情報が、災害時には大変役立つと思われる。

(2) 苦労した点

• 安否確認票の提出率が50%強と低く、個人情報のため、様々な理由はあるが、完全に賛同を得られたとは言えない。

(3) 今後の課題・展望

- 安否確認票の提出率を、もう少し上げたい。
- データを陳腐化させないために、定期的な見直しが必要。

(4) メッセージ・アドバイス

- 転出、転入や死亡、出生などのため、 安否確認票は、随時及び定期的な点検 が必要。
- 安否確認票の提出者は50%強だが、 それ以外の人は学区として把握しにく いので、公的機関にお願いせざるを得ない。

E M CLARTISTICA CERTIFICAL COLORS				理路化 理路()					身体の状況等 (本人・裏質で試当するともは、 該当機に〇をつけてどおり					避 日分	数が	記事 どんなことでも前標です。		
3-9 3-12 to 1			性別	700	M C	2 4 1 0			**	報ぐ課	発たきり	題紋	音楽・春田	自分でできる	はした	非常共高時・聚念時に、支援の参考に なることがあれば配達してください (便収明連絡先、携帯電話番号など		
7			8·#	*	٨	大正 短制 行成	*	,	, ,									
F			n - n			大正 取材 平成	+	1	1 11									
*			男・女			大芒 町物 甲戌	*	J	1 11									
			男・女	Г		大定 税制 平成	*	,	1 11									
坎			35 · 8c			大芒 昭和 平成	q)	1 11									
a			男・泉			大王 昭和 平成	4	,	1 11									
F	N·*		Г		大花 町物 甲枚	qi.	,	1 11										
-			男-京			从发 机物 Vik	4	,	1 11									
梨泡速	格先(教授)	の方など、葉は		連絡	† 6	方を記				and the second	_						1626	